

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) たまご&ファーマーズ株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 315-0048 茨城県石岡市三村2459番地3	
本票作成	部署名： 生産本部				
主たる業種	分類コード	01	業種名： 農業		
事業の概要	鶏卵業（鶏卵生産・鶏卵パック詰め商品の製造販売）				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	美咲事業所		岡山県久米郡美咲町越尾679-1	
	②	美咲事業所 美咲ひよこファーム		岡山県久米郡美咲町越尾372-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数(②該当の場合) 台)				
温室効果ガス排出量	基準年度(令和 5 年度)	(令和 6 )年度排出量		目標年度(令和 7 年度)	
	4,658 t CO <sub>2</sub>	3,998 t CO <sub>2</sub>		4,533 t CO <sub>2</sub>	
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(令和 6 )年度排出量	
	①	美咲事業所		3,727 t CO <sub>2</sub>	
	②	美咲事業所 美咲ひよこファーム		269 t CO <sub>2</sub>	
				t CO <sub>2</sub>	
				t CO <sub>2</sub>	
				t CO <sub>2</sub>	
削減目標の達成状況	計画期間： 令和 6 年度 ～ 令和 7 年度 ( 2 箇年度)				
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 6 )年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	14.1 %	2.6 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達	
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量		原単位当たり排出量		
			基準年度	( 6 )年度	目標年度
			0.117	0.101	0.114
			t CO <sub>2</sub> /( t )	t CO <sub>2</sub> /( t )	t CO <sub>2</sub> /( t )
(該当事業者のみ記入)					
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標		関連数値(令和 6 年度)	達成率等
【削減状況の自己評価】					
・計画の多くが未実施になっているが、既存設備の運用を変えることで大幅に消費電力を削減することができCO <sub>2</sub> 排出量の削減にも繋がった。 ・計画通り設備更新を実施し、固定エネルギーの削減を図る。					

【推進体制】

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理体制を整備
- ・省エネ推進会議を毎月開催し、エネルギー使用量の把握及び削減検討
- ・省エネ推進委員会が中心となりピーク時の負荷調整を実施

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
美咲事業所	<p>(令和6年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所系統空調更新(28基)</li> <li>・冷凍機更新(液卵工場全体)</li> <li>・鶏舎エアハンドリングユニットにタイマー増設し間欠運転(CO2削減量320t/年)</li> <li>・紫外線殺菌装置撤去(CO2削減量12t/年)</li> </ul> <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所系統照明更新(LED化)</li> <li>・生産設備更新(集卵・選別包装設備一式)</li> <li>・蒸気ボイラー高効率に更新(CO2削減量9t/年)</li> <li>・給湯ボイラー高効率に更新</li> <li>・容器洗浄機更新</li> </ul>

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- ・冷暖房設備の使用電力低減のため、クールビズ・ウォームビズ運動に取り組んでいる
- ・省エネ会議(毎月1回)
- ・省エネパトロール(工場における生産設備・照明・空調の最適使用状況を確認)
- ・夏季の室温上昇による使用電力低減のため屋根上散水を実施